

日本小児看護学会災害対策委員会主催

災害看護研修会

阪神淡路大震災 20 年 こどもと家族を対象とした災害看護を考える

～病気や障がいがあるこどもを災害から守る方略～

阪神淡路大震災から 20 年、津波・原子力災害・火山噴火と私たちの周りでは常に災害報道が日常になっています。しかしながら自分自身の身近に迫る危機として、どれほどの人が感じているのでしょうか。阪神淡路大震災を機に災害看護は生まれ学問としても発展途上の最中にあります。皆様自身がかかわるこどもと家族を災害時に守る備えは考えられているのでしょうか。自分自身を守る備えは？

阪神淡路大震災から 20 年・・・だからこそ備えの見直しやこころの備えを一緒に行いませんか。

日時：2015 年 11 月 15 日(日) 13:30-16:00 (受付 13:00～)

場所：兵庫県立大学地域ケア開発研究所 3 階演習室

参加定員：100 名(申込み順)

参加費：会員 1000 円 非会員 3000 円

※参加費には、研修会で紹介します「小児病棟用ケアパッケージ」冊子と DVD 等の資料代が含まれます。

プログラム 第 1 部 病院での備えの視点－研究の見知から－ 渡邊 聡子氏

(兵庫県立大学大学院博士後期課程母性看護学)

施設での具体的な取り組み

佐々木 藍子氏

(兵庫県立尼崎総合医療センター)

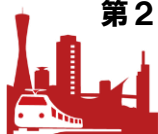
新本 淳子氏 和田 昌彦氏

(社会福祉法人芳友 にこにこハウス医療福祉センター)

小児病棟用ケアパッケージの紹介ならびに研究で得られた導入事例を紹介

三宅 一代(災害対策委員近畿地区)

第 2 部 参加者の皆様の施設やこどもたちの状況に応じた備えを具体的にするための意見交換



※参加申込み方法・会場については裏をご覧ください。



応募方法

参加を希望される方は下記の災害対策委員会事務局にメールで必要事項を記入してお送りください。

《件名》 研修会申込み

《本文》 1. 氏名、2. 所属先、3. 連絡先電話番号

《会員か非会員》 日本小児看護学会の会員かどうか

* 同じメールで、複数名の申し込みが可能です。その場合も、氏名等はすべてお知らせ下さい。

* 参加の可否は、そのメールに返信させていただきます。

応募〆切：11月8日

一般社団法人日本小児看護学会 災害対策委員会事務局

e-mail : jschn.saigai@gifu-cn.ac.jp

研修会会場

兵庫県立大学 地域ケア開発研究所3階演習室



＜電車→バスをご利用の場合＞

JR 山陽本線・山陽電鉄明石駅で
おりて、明石駅北側バス停から
「がんセンター」

方面のバスに乗車し、「がんセン
ター」で下車して下さい。バス停
から西に歩く

こと数分でキャンパスです。(バ
スは約30分おきに発車、所要時間
約6分です。)

※なお当日、お車でのお越しはご
遠慮ください。

研修会に関する問い合わせ先（参加の応募先とは異なります。）

兵庫県立大学看護学部 小児看護学 三宅一代（日本小児看護学会災害対策委員近畿地区）

e-mail : kazuyo_miyake@cnas.u-hyogo.ac.jp